

令和6年度における施策推進方針(盛岡広域振興局)

施策推進方針	いわて県民計画(2019～2028)の推進に係る重要課題等										
<div data-bbox="145 263 1106 582"> <p>広域圏別社会増減(対県外)</p> </div> <div data-bbox="145 598 1106 774"> <p>基本的方向</p> <p>人口減少が進行する中、県央広域振興圏の持つ強みを伸ばし、弱みを克服する施策が必要。人口減少対策は、市町村と更に連携を密にし、地域の特性を踏まえながら対策を講じていくことが重要</p> </div> <div data-bbox="145 790 1106 1444"> <p>重点項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">人口減少対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 県央圏域は圏域別で最も社会減が大きく影響大 ■ 特に盛岡以北の葛巻町、岩手町の社会減が目立つ ■ 若年者の県内就職者が減少 </td> <td> <p>地元定着の推進</p> <p>U・Iターンの推進</p> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ ニューヨーク・タイムズ掲載による効果の広域への波及 </td> <td> <p>交流人口の拡大</p> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 労働力不足への対応 ■ IT×ものづくり連携、農業生産性向上 </td> <td> <p>D×による産業振興</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>市町村との一層の連携強化</p> </td> </tr> </tbody> </table> </div>	人口減少対策		<ul style="list-style-type: none"> ■ 県央圏域は圏域別で最も社会減が大きく影響大 ■ 特に盛岡以北の葛巻町、岩手町の社会減が目立つ ■ 若年者の県内就職者が減少 	<p>地元定着の推進</p> <p>U・Iターンの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ニューヨーク・タイムズ掲載による効果の広域への波及 	<p>交流人口の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 労働力不足への対応 ■ IT×ものづくり連携、農業生産性向上 	<p>D×による産業振興</p>	<p>市町村との一層の連携強化</p>		<p>1 人口減少対策〔社会減対策の強化の3つの柱(+1)〕</p> <div data-bbox="1133 311 2092 367"> <p>いわてとのつながりの維持・強化(地元定着、U・Iターン)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学生等を対象とした企業見学、体験学習の実施 ○ 県内IT企業向けの効果的な採用活動等に係る勉強会 新規 ○ 管内8市町合同移住相談会 【連携】 ○ Uターンアンケートを基に、候補者への継続的アプローチ 【連携】 ○ 協力隊など移住者のネットワークづくりによる定着促進 新規 <div data-bbox="1133 598 2092 654"> <p>多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ スマート農業の推進による生産性向上(水稻自動水管理システム、AIによる牛の分娩検知システム、低コスト環境制御技術、りんどうのAI自動選別機の導入への取組) <div data-bbox="1133 805 2092 861"> <p>NYTへの掲載を契機とした交流人口、関係人口の拡大</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県央圏域ならではの酒蔵ツーリズム(酒の宴イベントを基軸に酒蔵めぐり旅行商品造成、IGRとタイアップした割引切符企画) 一部新規 ○ 教育旅行誘致に向けたプロモーション <div data-bbox="1133 1013 2092 1069"> <p>市町村や地域的な少子化対策、社会減対策に関する取組の支援</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地経費市町村連携枠 新規 を活用し、移住・交流人口拡大・販路開拓・DX等の取組を実施(6事業) ○ R6は管内8市町への情報提供・意見交換を定期的に開催する。
人口減少対策											
<ul style="list-style-type: none"> ■ 県央圏域は圏域別で最も社会減が大きく影響大 ■ 特に盛岡以北の葛巻町、岩手町の社会減が目立つ ■ 若年者の県内就職者が減少 	<p>地元定着の推進</p> <p>U・Iターンの推進</p>										
<ul style="list-style-type: none"> ■ ニューヨーク・タイムズ掲載による効果の広域への波及 	<p>交流人口の拡大</p>										
<ul style="list-style-type: none"> ■ 労働力不足への対応 ■ IT×ものづくり連携、農業生産性向上 	<p>D×による産業振興</p>										
<p>市町村との一層の連携強化</p>											

いわて県民計画(2019～2028)の推進に係る重要課題等

2 地域振興プラン（重点事項のうち主なもの）

DX

IT・ものづくり産業の連携によるデジタル化の推進、りんどうのAI自動選別機の実用性の実証などスマート農業の推進

GX

木質バイオマスの導入促進、堆肥活用による肥料試作を通じた環境負荷低減の取組

安全・安心

盛岡市動物公園（ZOOMO）と連携したクマ被害防止対策

3 その他令和6年度に取り組むべき重要課題（再掲）

北上川バレープロジェクト

○ IT・ものづくり産業の連携によるデジタル化の推進

（プロジェクトの内容「①IT産業と・・・ものづくり産業双方の強みの掛け合わせ」関連）

○ スマート農業の推進等による生産性向上等の取組（水稻自動水管理システム、AIによる牛の分娩検知システム、低コスト環境制御技術、りんどうのAI自動選別機の導入、ゲノミック評価の活用による優良雌牛群確保への取組）

（目指す姿：「第4次産業革命技術の導入が促進されることにより、農業・・・などの作業の省力化や生産性向上」関連）

北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

○ 再生可能エネルギー（木質バイオマス等）の導入促進

（プロジェクトの内容「③豊富な再生可能エネルギー資源を生かした地域の振興」関連）

○ 学生等を対象とした企業見学・体験学習の実施、Uターンアンケートを基に候補者への継続的アプローチ

（目指す姿：「若者の地元定着やU・Iターンの増加」関連）

いわて県民計画（2019～2028）の推進に係る重要課題

1 人口減少対策

【広域】：広域振興事業費、【地経費】：地域経営推進費、【連携】：市町村との連携の取組

<



マッチングガイダンス



保護者・教員企業見学会



スマート農業学習会

一部新規

現状と課題

○ 建設業従事者の状況

建設企業で働く技術者・労働者の主たる担い手が、約10年後に一斉退職・大幅減が予測されており、担い手の確保・育成が必要

県内建設業従事者数の推移（年齢構成別）			
年代\年度	H21	H24	R3
10代	309	620	576
20代	5,104	4,395	4,559
30代	11,600	10,288	5,711
40代	11,858	10,909	11,279
50代	15,982	14,373	10,607
60代以上	6,702	11,116	15,262
計（人）	51,556	51,701	47,994
50代以上（%）	44.0%	49.3%	53.9%

（出典：経済センサス活動調査、岩手県建設業構造実態調査）



中学生が建設業の最新技術を体験

○ 医療・介護、福祉の従事者の状況

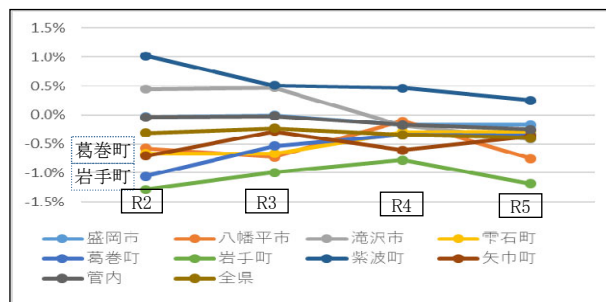
地域の包括的な支援体制を支える医療・介護、福祉の人材が不足しており、人材の育成・確保・定着が必要

【介護職員の必要数（県全体）】（単位：人）

年度	2019年	2023年	2025年	2040年
必要数（県全体）	23,833	25,366	26,831	27,588
現状推移 シナリオ職員数	-	24,166	24,126	21,365

○ 県内IT企業への就業支援に関連し、実態を調査したところ、「学生に情報が届いていない」、「県外企業に比べスピード感がない」等が明らかになったことから、学生のニーズに沿った採用活動への支援が必要。

【参考】管内の
社会減の状況



対応の方向性及び具体的取組内容

〔建設業〕

- 中学生及び保護者・教員を対象とした建設現場見学と体験学習の実施（ICTを活用した重機・ドローン体験等）
- 盛岡工業高校の生徒を対象とした女性技術者（いわて女性の活躍促進連携会議「けんせつ小町部会」）とのワーク・ライフ・バランスやキャリアアップについての意見交換会を実施
- 大学生を対象とした出前授業等の実施

〔医療・介護〕

中学生を対象とした進学・就学の動機付けを行う出前講座（講師：医師、看護師、介護士等）の実施。令和6年度は6校での実施を予定。



安代中学校出前講座

2 県内IT企業向けの効果的な採用活動等に係る勉強会

広域

新規

IT関連企業向け情報系学部生の就職動向等に関するセミナー開催

3 管内8市町合同移住相談会


地経費

【連携】

管内8市町と連携して東京で移住相談会を開催



移住相談会

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容																
<div>○ 北いわてゾーン3市町（八幡平市・葛巻町・岩手町）在住の親世代と県外在住の子弟へのUターンに関するアンケートを実施</div> <div>【親世代の回答】「子どもはUターンの意向はあるか」への回答（％）</div> <table><tr><td>意向あり</td><td>迷っている</td><td>意向なし</td><td>知らない</td></tr><tr><td>9.2</td><td>19.2</td><td>43.8</td><td>27.7</td></tr></table> <div>【子弟世代の回答】「Uターンしたいと思うか」への回答（％）</div> <table><tr><td>意向あり</td><td>意向なし</td><td>未定</td><td>考えたことがない</td></tr><tr><td>38.4</td><td>36.6</td><td>18.8</td><td>6.3</td></tr></table> <div>・ アンケート結果から、予想以上に子弟の世代は将来的なUターンを意識している。</div> <div>・ Uターンの潜在的候補者への継続的アプローチが重要</div> <div>○ 地域おこし協力隊など移住者の定着を促進する取組が必要</div>	意向あり	迷っている	意向なし	知らない	9.2	19.2	43.8	27.7	意向あり	意向なし	未定	考えたことがない	38.4	36.6	18.8	6.3	<div>4 Uターンアンケートを基に、候補者への継続的アプローチ</div> <div>地経費【連携】</div> <div>・ Uターン候補者のニーズに応じた情報提供を行う。</div> <div>・ 管内8市町合同移住相談会（東京）への誘導を図る。</div> <div>5 地域おこし協力隊など移住者のネットワークづくりによる定着促進</div> <div>広域新規</div> <div>・ 協力隊、協力隊 OBOG、新規就農者など移住者と関係団体が参加したネットワークづくりによる交流の促進</div> <div>・ 移住者間の交流の深化により、移住者の活動が相乗効果をあげることも期待</div> <div></div> <div>移住者交流会</div>
意向あり	迷っている	意向なし	知らない														
9.2	19.2	43.8	27.7														
意向あり	意向なし	未定	考えたことがない														
38.4	36.6	18.8	6.3														
<div>多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上</div> <div>○ 本庁の取組と連携し、多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上を図る。</div> <div>○ 盛岡局の取組としては、「いわてで働こう推進方針」に定める「省力化や機械化、デジタル化による生産性の向上」に関連し、当管内の特徴を生かして、農業分野のDXを推進</div>	<div>多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上</div> <div>1 農業分野のデジタル化による生産性向上</div> <div>広域地経費</div> <div>・ 水稻生産の低コスト・省力化や、夏季高温下における品質安定・向上に向けた自動水管理システムの実証展示と普及推進</div> <div>・ AIによる牛の非接触型分娩検知システム「牛わか」を導入し、分娩事故防止と昼夜を問わない分娩監視に係る農家負担の軽減を実証</div> <div>・ 施設園芸における収量・品質の向上、省力化を図るための低コスト環境制御技術の実証・普及</div> <div>・ 全国初のAIを搭載した切花りんどう自動選別機の実用性の実証と効率的な出荷体制の構築</div>																

現状と課題

NYTへの掲載を契機とした交流人口、関係人口の拡大

- 宿泊者数はコロナ禍前に戻りつつあり、NYT掲載による効果を広域に波及させることが重要

【観光庁 宿泊旅行統計調査】(単位：千人泊)

区分	R元	R2	R3	R4	R5	R5/ R元
岩手県内	6,277	4,312	4,434	5,039	5,708	90.9%
うち外国人	344	88	18	26	271	78.9%

【年間観光客入込数】(単位：人回)

区分	R元	R2	R3	R4	R5(1~6月)	前年同期比
県央	9,681,436	5,391,808	4,581,217	5,417,038	3,292,804	123.9%
県計	29,213,467	16,879,246	15,600,557	18,332,530	10,678,711	126.4%

- 県央圏域ならではの特徴やつながりを活かし、酒蔵ツーリズムや教育旅行誘致の取組に注力

- ・ 「いわて酒ノ宴 in もりおか」とも連動した酒蔵ツーリズムを県央圏域ならではの観光コンテンツとして確立するため、魅力発信やブランド化に向けた取組の強化が必要
- ・ 教育旅行入込数についても校種・発地ともコロナ禍前の傾向に戻ってきており、教育旅行の学びのニーズに対応した情報発信が必要

【教育旅行客入込数】(単位：人回)

区分	R元年		R2年		R3年		R4年		R5、6月		前年同期比 人数比較
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
県央	1,603	100,491	1,866	93,857	2,122	112,212	2,132	121,532	924	55,059	83.2%
県計	3,243	213,785	4,243	225,480	4,555	268,934	4,742	290,611	1,973	129,872	103.6%

- ・ 雫石町をモデル地区とした台湾からの訪日教育旅行誘致により、高級中学校2校の来県が実現。台湾側は管内高校等との交流をセットで実施したい意向があり、これまで雫石高校・盛岡中央高校との交流を実施。今後とも管内高校の受入に向けた調整が必要
- 広域周遊観光や相互交流（マイクロツーリズム）の促進に向けて、隣接圏域や秋田県際地域との連携による魅力発信が必要

対応の方向性及び具体的取組内容

NYTへの掲載を契機とした交流人口、関係人口の拡大

県内の酒造会社の4割が立地しており、県央圏域の地域資源である酒造り文化を活かした滞在・周遊型観光を推進し、NYT効果の圏域への波及を図る。

1 「いわて酒ノ宴 2024 in もりおか」の開催 地経費

- ・ いわて酒ノ宴や岩手の酒のブランド化（GI）とのコラボによる旅行商品の造成と定番化の推進
- ・ いわて酒ノ宴 IGR企画切符の発売 一部新規 【連携】
- ・ 秋季観光キャンペーンとも連携しながら、PR動画やWEB広告による情報発信

《参考：いわて酒ノ宴 in もりおか 2023 開催実績》

日時：9/30(土)・10/1(日)、来場者：10,855人

出店：管内酒造会社等23社

(日本酒：県内11社/24社、うち管内5社/9社、ビール・ワイン等12社)



2 教育旅行誘致 地経費

【国内】盛岡の歴史的街並みや生活文化等の題材等を通じて「学び」を深める学習教材「盛岡広域エリア探究学習ノート」を活用した教育旅行の誘致促進

【台湾】管内高校とのマッチング支援や、オンライン交流による管内高校の受入態勢の整備・充実を図る。

3 秋田県際連携 広域

鹿角地方振興局と連携した観光キャンペーン（デジタルスタンプラリー）の実施等

現状と課題

○ Z世代は、SNSの画像や動画視聴など、観光情報へのアクセスや収集方法が多様化（じゃらんリサーチセンター）していることから幅広い世代への情報発信が必要

【盛岡局公式Xのフォロワー数等】

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
フォロワー（人）	5,973	6,531	7,305	8,241	9,690

○ 県広域サイクリングルートの整備の動きを踏まえ、サイクルツーリズムの圏域への波及が必要

市町村との一層の連携強化

【管内8市町の人口の推移】



市町名	2000年	2023年	
		(10月1日時点)	増減率 (対2000年比)
盛岡市	302,857	283,674	−6.3%
八幡平市	32,485	22,701	−30.1%
滝沢市	51,241	55,055	7.4%
雫石町	19,750	14,891	−24.6%
葛巻町	8,725	5,224	−40.1%
岩手町	17,372	11,311	−34.9%
紫波町	33,038	31,906	−7.9%
矢巾町	25,268	27,325	8.1%

○ 人口減少対策は、市町村と更に連携を密にし、地域の特性を踏まえながら対策を講じていくことが必要

対応の方向性及び具体的取組内容

4 SNSによる誘客の促進

局公式X「おでんせ！情報発信局」による観光情報、食、伝統文化の情報発信



5 盛岡広域サイクルツーリズムの推進

地経費

・ ビューポイントや立寄り施設等の情報収集及び掘り起こし作業の実施

・ サイクルルート試走会の企画実施

・ SNSを活用した県央圏域のサイクル関連情報の定期的発信

市町村との一層の連携強化

1 地域経営推進費市町村連携枠

新規

を活用し、

・ 移住相談会の開催等移住定住の推進

・ 県外での観光物産展開催による交流人口の拡大や食産業事業者の販路開拓支援

・ 優良雌牛群の整備による畜産振興

・ 新規就農者の確保の取組 などを実施

2 R6は管内8市町への情報提供・意見交換を定期的を開催する。

2 地域振興プラン




〔広域〕：広域振興事業費、〔地経費〕：地域経営推進費

I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域

1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくります

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考												
<p>(1) 安心して子どもを生み育てられる環境づくりの推進</p> <p>○ 地域全体で子育てしやすい環境づくりや、子育てへの応援が必要</p> <p>【いわて子育てにやさしい企業等認証数（管内累計）】</p> <table><tr><td></td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td></tr><tr><td>（目標値）</td><td>-</td><td>-</td><td>179</td></tr><tr><td>認証数</td><td>101</td><td>128</td><td>144</td></tr></table>		R 3	R 4	R 5	（目標値）	-	-	179	認証数	101	128	144	<p>・ 「いわて子育てにやさしい企業等」の認証、「いわて子育て応援の店」登録店の拡大のための協力依頼</p> <p>〈協力依頼先〉</p> <p>市町、社会保険労務士会、食品衛生責任者など</p>	<p>自然減・社会減対策</p>
	R 3	R 4	R 5											
（目標値）	-	-	179											
認証数	101	128	144											

2 豊かな環境が保全され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会をつくります（環境保全等、脱炭素）

現状と課題		対応の方向性及び具体的取組内容		備考	
<p>(1) 多様で豊かな環境の保全・保護の推進</p> <p>○ ツキノワグマの市街地出没・人身被害が増加し、人身被害防止のための普及啓発や担い手となる狩猟者確保が必要。</p>		<p>市街地におけるツキノワグマによる人身被害防止を図るための普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none">盛岡市動物公園 ZOOMO と連携した勉強会の開催（クマの生態を学ぶ、シリアスゲームを活用しクマとの共生を考える）出没防止対策支援（ゾーニング管理）クマ鈴等着用定着促進（貸与事業）		<div>安全・安心</div> <div>地経費</div>	
過去 最多		人身被害(4-12月) (管内) (県全体)		出没件数(4-12月) (管内) (県全体)	
	R3	5件5名	14件14名	541件	2,586件
	R4	6件6名	23件24名	483件	2,156件
	R5	15件17名	46件49名	1,755件	5,818件
<p>シリアスゲーム</p> <p>「人とツキノワグマの共生」をテーマにしたボードゲーム。クマの習性や入山時の対策、里山の在り方を幅広い世代に遊びながら考えてもらう（盛岡市動物公園 ZOOMO と局職員が開発に携わり、ZOOMO がクラウドファンディングを活用し制作）</p>				 <div>シリアスゲーム</div>  <div>ゲームを活用した勉強会</div>	

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考				
<p>(2) 動物愛護思想の普及と適正飼養の推進</p> <p>○ 多頭飼育等に関する相談・苦情が増加しており、動物の適正飼養の普及啓発や社会福祉関係部局等関係機関との連携が必要</p> <table><tr><td>管内犬猫相談苦情</td><td>R3 57件(2件)</td><td>R4 104件(4件)</td><td>R5 102件(15件)</td></tr></table> <p>()は多頭飼育関連</p>	管内犬猫相談苦情	R3 57件(2件)	R4 104件(4件)	R5 102件(15件)	<p>動物愛護管理の推進に向けた多機関連携事業</p> <ul style="list-style-type: none">・ 社会福祉部所等関係機関連絡会議開催・ 「社会福祉と動物愛護を考える研修会」開催・ 譲渡促進と緊急対応時への措置 (一部新規) (疾病検査キット、ワクチン、ケージなど配備)	<div>地経費</div>
管内犬猫相談苦情	R3 57件(2件)	R4 104件(4件)	R5 102件(15件)			
<p>(3) 再生可能エネルギーの導入促進</p> <p>○ 管内では、木質バイオマス発電など、再生可能エネルギーの導入拡大の取組が進められており、公共施設や産業分野における再生可能エネルギーの導入促進に取り組むことが必要</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 木質バイオマスコーディネーターの派遣による導入促進・ 木質バイオマス事業者に対して、松くい虫被害木チップ化による木質バイオマス燃料材の提供活用を促進・ 公共施設や産業分野における再生可能エネルギー導入先進事例の情報共有や勉強会の開催	<div>G X</div> <div>地経費</div>				

3 歴史と文化を継承しながら、新たなつながりや活力を感じられる地域づくりを進めます

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>(1) 持続可能な地域コミュニティづくりと活動を支える人材の育成</p> <p>○ 地域コミュニティ機能の維持が課題となっており、市町のコミュニティ施策に対する支援が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティ活動に係る優良事例の勉強会等開催、岩手県立大学三好ゼミの学生によるフィールドワーク活動支援 	<p>自然減・社会減対策</p> <p>地経費</p>
<p>(2) 歴史や文化など地域の特色を活用した地域の活性化の促進</p> <p>○ 地域の担い手不足が課題となっていることから、地域活動を支える人材の育成が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化芸術コーディネーター同行による管内市町訪問等を通じて、各種取組への支援を実施 	<p>自然減・社会減対策</p> <p>地経費</p>

4 過去の教訓を踏まえた防災対策を進めます

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																
<p>(１) 河川改修や砂防施設による防災安全度の向上</p> <p>○ 豪雨に伴う災害の激甚化、頻発化しており、洪水・土砂災害による被害を軽減するため早期の防災施設整備が必要</p> <table><tr><th>指標</th><th>単位</th><th></th><th>現状値</th><th colspan="4">年度目標値</th><th>計画目標値</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th>R3</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th></th></tr><tr><td rowspan="2">近年の洪水による浸水家屋の解消率</td><td rowspan="2">%</td><td>目標値</td><td rowspan="2">85.8</td><td>85.8</td><td>86.0</td><td>86.9</td><td>86.9</td><td></td></tr><tr><td>現状値</td><td>86.9</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	指標	単位		現状値	年度目標値				計画目標値				R3	R5	R6	R7	R8		近年の洪水による浸水家屋の解消率	%	目標値	85.8	85.8	86.0	86.9	86.9		現状値	86.9				<p>河川改修の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・ 木賊川遊水地工事（滝沢市・盛岡市）・ 北上川・松川河川改修（盛岡市・岩手町）・ 馬淵川河川改修（葛巻町） <p>砂防施設や急傾斜地崩壊対策施設の整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・ 山岸・桜山地区急傾斜地崩壊対策工事（盛岡市）・ 外水沢地区砂防堰堤築造工事（八幡平市）・ 平笠東沢地区砂防堰堤築造工事（八幡平市）	<div>安全・安心</div>
指標	単位		現状値	年度目標値				計画目標値																										
			R3	R5	R6	R7	R8																											
近年の洪水による浸水家屋の解消率	%	目標値	85.8	85.8	86.0	86.9	86.9																											
		現状値		86.9																														
<p>(２) 災害関連情報の充実強化による減災対策</p> <p>○ 水位周知河川や洪水浸水想定区域の指定が完了したことから、適切な運用が必要</p> <table><tr><th></th><th>土砂災害警戒区域等</th><th>新たな「土砂災害が発生する恐れのある箇所」</th><th>計</th></tr><tr><td>盛岡局管内</td><td>1,606</td><td>924</td><td>2,530</td></tr></table>		土砂災害警戒区域等	新たな「土砂災害が発生する恐れのある箇所」	計	盛岡局管内	1,606	924	2,530	<p>地元自治体との情報共有及び連携強化の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・ 水位周知河川のホットラインの運用・ 土砂災害が発生する恐れのある箇所の基礎調査の実施と結果の公表	<div>安全・安心</div>																								
	土砂災害警戒区域等	新たな「土砂災害が発生する恐れのある箇所」	計																															
盛岡局管内	1,606	924	2,530																															

5 安心・快適な都市環境・生活環境をつくります

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																
<p>（１）高次都市機能の充実</p> <p>○ 交通混雑を緩和し、市街地の円滑な交通が必要</p>	<p>交通混雑が緩和される街路の整備推進</p> <ul style="list-style-type: none">盛岡駅本宮線（杜の大橋：盛岡市）盛岡滝沢線（鶴飼八人打：滝沢市）																																	
<p>（２）安全・安心な歩行空間及び自転車通行空間の確保</p> <p>○ 児童生徒の安全な通学のため歩道整備が必要</p> <table><tr><th>指標</th><th>単位</th><th></th><th>現状値</th><th colspan="4">年度目標値</th><th>計画目標値</th></tr><tr><td rowspan="3">歩道設置推進箇所の整備率</td><td rowspan="3">%</td><td></td><td>R3</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td>-</td><td>34.2</td><td>48.9</td><td>69.7</td><td>100.0</td><td></td></tr><tr><td>現状値</td><td></td><td>40.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>○ 自転車通行帯の明示により歩行空間と分離し、安全・安心な歩行空間及び自転車通行空間の確保が必要</p>	指標	単位		現状値	年度目標値				計画目標値	歩道設置推進箇所の整備率	%		R3	R5	R6	R7	R8		目標値	-	34.2	48.9	69.7	100.0		現状値		40.0					<p>歩道整備や歩行空間確保の推進</p> <ul style="list-style-type: none">古館停車場線（中島：紫波町）上米内湯沢線（浅岸：盛岡市）渋民田頭線（五百森：八幡平市）ほか２工区 <p>自転車通行帯の明示の推進</p> <ul style="list-style-type: none">氏子橋夕顔瀬線（夕顔瀬町：盛岡市）	<div>安全・安心</div>
指標	単位		現状値	年度目標値				計画目標値																										
歩道設置推進箇所の整備率	%		R3	R5	R6	R7	R8																											
		目標値	-	34.2	48.9	69.7	100.0																											
		現状値		40.0																														


Ⅱ I T産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力のある産業が展開している地域

6 産学官金連携によるI T産業の育成やものづくり産業の振興に取り組みます



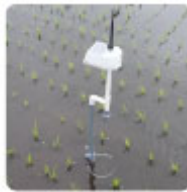

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>(1) I T・ものづくり産業の幅広い産業分野への参入促進</p> <p>○ デジタル化に取り組む県内企業の割合は約5割となっており、(2021.9 岩手経済研究所)、I T産業と多様な産業との連携に向けた支援が必要</p> <p>○ I T連携コーディネーターマッチング支援状況 (R5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業等訪問 63 社 I Tツール導入取引成約件数 7 件 (板金工場へのA I 調色管理測色システムの導入支援等) 	<p>多様な産業分野へのI T企業の参入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> I T連携コーディネーターによる企業訪問等を通じたビジネスマッチング支援 県南広域振興局と連携したI T×ものづくり企業のマッチング交流会の開催 <p>I T・ヘルスケア関連企業等の展示会等出展支援を通じた取引拡大の促進</p>	<p>DX</p> <p>広域</p> <p>地経費</p>

7 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域経済を活性化します(観光産業、食産業・工芸品産業)

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考										
<p>(1) 食品・工芸品製造事業者の事業再構築と人材の育成</p> <p>○ 原材料の価格高騰等が、事業者の企業経営に影響を及ぼしており、売上回復や経営の安定化を図る事業者の事業再構築への取組等の支援が必要</p> <p>【県央地域の食料品製造業出荷額】 (単位: 億円)</p> <table><tr><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th></tr><tr><td>1,285</td><td>1,267</td><td>1,289</td><td>1,277</td><td>1,280</td></tr></table>	H30	R1	R2	R3	R4	1,285	1,267	1,289	1,277	1,280	<p>食産業コーディネーターによる支援 一部新規</p> <ul style="list-style-type: none">管内食産業事業者に対し、機動的な伴走支援の実施及び関係機関との連携強化 <p>各種支援機関等の専門家の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none">岩手県産業創造アドバイザー、よろず支援拠点、商工指導団体及び金融機関等の活用	<div>地経費</div>
H30	R1	R2	R3	R4								
1,285	1,267	1,289	1,277	1,280								
<p>(2) 商品の高付加価値化及び販路拡大の促進</p> <p>○ 食品製造事業者及び工芸品製造事業者の販路や売上の拡大につなげるため、販売機会等の創出に向けた支援が必要</p>	<p>工芸品販路拡大支援</p> <ul style="list-style-type: none">商談会及び工房見学会の実施を通じて、バイヤーとの関係強化及びマッチングを支援 <p>大都市圏における物産展の開催</p> <ul style="list-style-type: none">食産業事業者の販路開拓に向けて、イオン東北との連携を強化し、イオンモール新利府で物産展を開催	<div>広域</div> <div>地経費</div>										

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>(3) 観光等と連携した食産業・工芸品産業の振興</p> <p>○ 管内の北いわてゾーン3市町（八幡平市・岩手町・葛巻町）を中心に観光・物産のPRの場が必要</p> 	<p>北いわてゾーン3市町の観光・物産フェア</p> <ul style="list-style-type: none"> さいたま市における首都圏の地方創生の取組と連携し、3市町に特化した観光・物産フェアを実施し、交流人口の拡大と食産業等の販路拡大を支援 	<p>自然減・社会減対策</p> <p>地経費 新規</p>



8 米・園芸・畜産のバランスがとれた農業の持続的発展と活力のある農村づくりを進めます

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																				
<p>（１）次世代の地域農業を担う経営体の育成</p> <p>○ 企業の経営体の育成</p> <p>農業従事者は 10 年で約 3 割減少し、高齢化が進展する一方で、販売額 3,000 万円以上の経営体が増加。今後も地域農業をけん引する企業の経営体の育成が必要</p> <p>【基幹的農業従事者数の推移（県央管内）】（ ）内は 65 歳以上の割合</p> <table><tr><th>H22</th><th>H27</th><th>R2</th></tr><tr><td>16,749 人 (56.7%)</td><td>15,118 人 (61.5%)</td><td>12,248 人 (69.3%)</td></tr></table> <p>資料：農林業センサス</p>	H22	H27	R2	16,749 人 (56.7%)	15,118 人 (61.5%)	12,248 人 (69.3%)	<p>企業の経営体の育成</p> <ul style="list-style-type: none">経営規模拡大や法人化等、経営発展に意欲ある経営体の経営課題の解決に向けた個別支援（岩手県農業経営・就農支援センターと連携した専門家派遣等）を実施 <p>【販売額 3,000 万円以上の経営体の推移（県央管内）】</p> <table><tr><th>H22</th><th>H27</th><th>R2</th></tr><tr><td>167</td><td>179</td><td>332</td></tr></table>	H22	H27	R2	167	179	332																									
H22	H27	R2																																				
16,749 人 (56.7%)	15,118 人 (61.5%)	12,248 人 (69.3%)																																				
H22	H27	R2																																				
167	179	332																																				
<p>（２）生産性・市場性の高い安全・安心な産地づくり</p> <p>○ 需要に応じた米生産の推進</p> <p>県央圏域の「銀河のしずく」の作付は、県内の 7 割を占め、さらに生産拡大の見込み。主産地として高品位・良食味安定生産の取組が必要</p> <p>【「銀河のしずく」作付面積の推移】（単位：ha）</p> <table><tr><th>区分</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>県央 (県内シェア)</td><td>1,084 (73%)</td><td>1,164 (70%)</td><td>1,136 (63%)</td><td>1,578 (63%)</td><td>3,354 (72%)</td></tr><tr><td>全県</td><td>1,479</td><td>1,652</td><td>1,800</td><td>2,500</td><td>4,650</td></tr></table> <p>【「銀河のしずく」の一等米比率の推移】（全県、単位：％）</p> <table><tr><th>区分</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5※</th></tr><tr><td>銀河のしずく</td><td>98.6</td><td>99.8</td><td>99.0</td><td>99.3</td><td>97.0</td></tr><tr><td>全県うるち</td><td>93.8</td><td>94.7</td><td>96.0</td><td>96.9</td><td>91.5</td></tr></table> <p>※R5 は R5.12 月時点</p>	区分	R1	R2	R3	R4	R5	県央 (県内シェア)	1,084 (73%)	1,164 (70%)	1,136 (63%)	1,578 (63%)	3,354 (72%)	全県	1,479	1,652	1,800	2,500	4,650	区分	R1	R2	R3	R4	R5※	銀河のしずく	98.6	99.8	99.0	99.3	97.0	全県うるち	93.8	94.7	96.0	96.9	91.5	<p>需要に応じた米生産の推進</p> <ul style="list-style-type: none">水稻生産の低コスト・省力化や、「銀河のしずく」をはじめとした水稻の夏季高温下における品質安定・向上に向けた自動水管理システムの実証展示と普及推進 （自動水管理システムの実証展示） <div></div> <p>携帯端末等で田んぼの水位がわかる水位センサーと、携帯端末等から給水・止水ができる開水路用給水ゲート、パイプライン用給水ゲート</p>	<div>DX</div> <div>広域</div> <div><p>銀河のしずく</p></div>
区分	R1	R2	R3	R4	R5																																	
県央 (県内シェア)	1,084 (73%)	1,164 (70%)	1,136 (63%)	1,578 (63%)	3,354 (72%)																																	
全県	1,479	1,652	1,800	2,500	4,650																																	
区分	R1	R2	R3	R4	R5※																																	
銀河のしずく	98.6	99.8	99.0	99.3	97.0																																	
全県うるち	93.8	94.7	96.0	96.9	91.5																																	

現状と課題						対応の方向性及び具体的取組内容		備考
【岩手中央市場の子牛販売頭数及び価格】（単位：頭、千円）						<div><div><div>高</div><div>低</div></div><div><p>優良な雌子牛の生産</p><p>市場価格が高い子牛</p><p>ゲノミック評価の高い雌</p><p>優良な雌牛集団への改良</p></div></div>		地経費
※2 全農岩手県本部和牛子牛市場成績速報（4～3月）								新規
※3（独）農畜産業振興機構調べ（4～3月）								
○ 環境に配慮した農業生産の推進								
肥料価格の高騰や確保が困難となることが懸念される中で、化学肥料代替として地域資源である堆肥を有効活用するとともに、化学肥料削減による環境負荷低減に向けた取組を加速する必要								
【令和6年2月の農業物価指数（令和2年を基準年とした指数）】								
区 分		指数						
農業生産資材（総合）		120.9						
うち肥料		144.5						
資料：農林水産省 農業物価統計調査（令和2年＝100）								GX
								地経費

9 森林資源の循環利用促進ともうかる林業・木材産業の構築を進めます


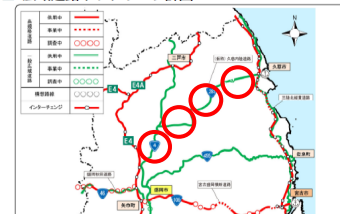
現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>(1) 森林資源の循環利用及び担い手の育成・確保</p> <p>○ 計画的な主伐、造林、間伐を進めるため、意欲と能力のある林業経営体の育成が必要</p> <p>スマート林業の取組 (ドローンレーザー等を活用した画像解析)</p>	<p>森林経営計画作成を担う人材の育成</p> <p>・ 意欲と能力のある林業経営体と森林施業プランナーの育成</p> <p>・ 森林GISや森林クラウドなど情報通信技術 (ICT) 等の先端技術を活用したスマート林業の推進</p>	<p>自然減・社会減対策</p> <p>GX</p> <p>DX</p>

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>○ 林業就業者の 60 歳以上の割合が高止まり傾向にあり、若返りが必要 [参考] 令和 4 年度の年代別割合：盛岡局管内 39 歳以下：27%、40～59 歳：33%、60 歳以上：40%</p>	<p>林業の担い手確保対策の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就業者の確保・定着対策及び林福連携の就業支援 労働強度の軽減のための林業用アシストスーツ等新技術の導入、空調服等の普及促進  <p>盛岡地区安全伐倒競技・交流会</p>	<div>地経費</div>
<p>(2) 地域材の利用促進</p> <p>○ 間伐・再造林等の森林整備や地域材の利用を促進する森林の循環利用の推進が必要</p> <p>○ 住宅リフォームや店舗等での需要拡大のため更なる地域材の P R が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 森林施業の集約化、路網の整備、林業の低コスト化、高性能林業機械の導入支援 アカマツ材等地域材の建材への利用促進に係る建築業者への啓発活動等 民間建築物での県産木材利用拡大促進のため、建築事業者向けの県産木材利活用セミナー等の開催 	<div>G X</div> <div>地経費</div>
<p>(3) 原木しいたけ産地の再生</p> <p>○ 原木の安定確保、担い手の確保・育成が必要</p> <div>※原木コネクター（局独自） 森林所有者（原木林所有者）としいたけ生産者をつなぐ原木の生産・供給に意欲的な地域の原木生産</div> <p>○ 経営の安定化による収益の確保が必要</p> 	<p>生産支援・原木確保支援</p> <ul style="list-style-type: none"> しいたけや原木等の放射性物質検査の実施 原木コネクター※が増産した原木に対する助成 <p>販路拡大に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培技術の勉強会の開催等による担い手の育成 販売促進活動の実施 	<div>地経費</div>

10 地域産業の特性に応じた産業人材の確保・育成とやりがいを持って働くことができる労働環境の整備を進めます

現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>(1) 若年者等の就業支援と地域産業を支える人材の確保</p> <p>○ 離職率が全国平均を上回っている大学新卒の早期離職の防止</p>	<p>早期離職の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生とU・Iターン就職者との交流会実施 ・ 就業支援員、県内就業・キャリア教育コーディネーターによる就職後の定着支援のための企業訪問等の実施 	自然減・社会減対策
<p>(2) 企業における雇用・労働環境整備の促進</p> <p>○ 企業の魅力発信力の向上、待遇改善やワーク・ライフ・バランスなど働き方改革の推進が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の採用力強化セミナー（企業間交流による取組事例の共有）への参加促進 	自然減・社会減対策

11 産業経済活動を支える交通ネットワークを整えます

現状と課題								対応の方向性及び具体的取組内容		備考																													
<div>(1) 物流・交流ネットワークの整備</div> <div>○ 物流・交流の基盤となる道路の整備推進が必要</div> <table><tr><th>指標</th><th>単位</th><th></th><th>現状値</th><th colspan="4">年度目標値</th><th>計画目標値</th></tr><tr><td rowspan="3">物流・交流の基盤となる道路の整備推進箇所の整備率</td><td rowspan="3">%</td><td></td><td>R3</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>目標値</td><td>-</td><td>52.0</td><td>67.6</td><td>86.8</td><td>86.8</td></tr><tr><td>現状値</td><td>67.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								指標	単位		現状値	年度目標値				計画目標値	物流・交流の基盤となる道路の整備推進箇所の整備率	%		R3	R5	R6	R7	R8	目標値	-	52.0	67.6	86.8	86.8	現状値	67.6					<div>産業経済活動を支える物流ネットワークの構築</div> <div>・ 一般国道4号盛岡南道路の整備が進むよう国へ働きかけ</div> <div>県央圏域内外との交流を促進する広域ネットワークの整備</div> <div>・ 一般国道282号などの整備を推進</div> <div>・ 構想路線「(仮称)久慈内陸道路」の検討を推進</div>		
								指標	単位		現状値	年度目標値				計画目標値																							
								物流・交流の基盤となる道路の整備推進箇所の整備率	%		R3	R5	R6	R7	R8																								
										目標値	-	52.0	67.6	86.8	86.8																								
										現状値	67.6																												
<div></div> <div>一般国道282号佐比内工区</div>		<div></div> <div>(仮称)久慈内陸道路</div>																																					